

アピール

## 「かがやけ憲法・全労連全国縦断キャラバン」の成功、 地域の運動と組織の強化・拡大の飛躍をつくりだそう!

参院選で自・公の与党が非改選議員を含め過半数を超える議席を獲得し、衆議院に続いて参議院でも安定多数を得た。一方で安倍政権の批判の受け皿として存在感を示した日本共産党が 8 議席を得て、議案提案権を獲得した。また、公約違反を重ねた民主党は大敗し、みんな・維新の会は伸び悩んだ。「くらし・平和を守れ」との切実な要求を前面に取り組んだ私たちの運動が拡がり、「2 大政党制」の破たん、「第三極」勢力が改憲や構造改革の推進勢力であることが明確になった選挙であった。

安倍政権は国会での多数を背景に、アベノミクスの第 3 の矢となる「成長戦略」で、「世界で一番企業が活動しやすい国」を実現するとし、設備投資減税をすすめ、解雇自由の「限定正社員」、残業代ゼロの「裁量労働の拡大」など、雇用のルールを破壊しようとしている。

また、来年 4 月からの消費税増税の強行、生活保護制度や年金・医療・介護・保育など社会保障制度の改悪、「新規制基準」をテコにした原発再稼働推進、見込みのない 5 品目の関税撤廃除外を掲げての TPP 交渉等に突き進もうとしている。そして、改憲に向け、国民投票法の年齢を確定する改憲手続き法改定案の成立、「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」(安保法制懇)の提言に基づく集団的自衛権を認める国家安全保障基本法制定を狙っている。

しかし、世論調査で示されているように、これらのいずれの課題にも国民多数は反対している。衆参の「ねじれ解消」とマスコミは報道しているが、国民とのねじれは全く解消していない。全労連はこうした国民多数の要求の広がりとその間の取り組みの前進を確信に、安倍政権の暴走をストップさせるために全力を挙げる。

秋季年末闘争では「安全・安心社会をめざす大運動」の具体化である「かがやけ憲法・全労連全国縦断キャラバン 2013」を集中点に、労働法制改悪を許さず、安定した良質な雇用の実現、まともな働くルールの確立、全国一律最賃・時給 1000 円以上の実現、公務員賃金など賃金引き上げにとりくむ。また、原発再稼働反対・すみやかな原発ゼロの日本実現、TPP 参加阻止、消費税増税の中止・撤回、社会保障制度改悪反対、オスプレイ追加配備・全国での飛行訓練阻止と米軍基地撤去、そして憲法改悪反対のとりくみを、地域からの共同を位置付け壮大な国民的大運動としてとりくむ。

さらに「地域の運動と組織の強化をめざす全国交流集会(仮称)」を開催し、集会を節目に中期計画を具体化し、組織拡大運動の飛躍をつくりだすために奮闘する。

この秋、一丸となって「かがやけ憲法・全労連全国縦断キャラバン 2013」を大きく成功させ、「改憲反対、憲法をくらしにいかそう」の世論と運動を広げ、労働者・国民が安全・安心に暮らせる社会をめざして、多くの労働者・労働組合との広範な国民的共同を広げ、要求実現とたくさんの仲間を増やすために奮闘しよう。

2013 年 8 月 1 日

全国労働組合総連合 第 49 回評議員会